

記憶の在り処

——アン・ホワイトヘッド

『記憶をめぐる人文学』の彼岸——

11/8～ 記憶選書フェア

@ブックセンター・クエスト小倉本店一階

日時： 11/ **25** (土) 12:00～18:00

会場： 九州工業大学戸畑キャンパス

総合教育棟 C-1B 講義室

三村 尚央 (英文学)

浜野 志保 (パラノーマル写真論)

中村 美亜 (芸術社会学)

第8回「文芸共和国の会」シンポジウム

the eighth encounter for the republic of letters

入場無料／予約不要

文芸共和国の会



「記憶の男性、女性、多性」

三村 尚央（英文学）

共同体の成員に対する強力な支配力

記憶研究の理論がかなりの程度に男性的な見地にもとづいて構成

女性たちが自分たちの記憶をめぐる語りを取り戻し始めた動向 記憶の「ジェンダー的側面」 女性と結びつけられがちなキッチンやレシピ本

「記憶の入口としての写真」

浜野 志保（パラノーマル写真論）

“実在していたものが写る”

2015 年、「グレイ・レディ」（エリザベス八世の侍女）

1917 年、「妖精写真」コナン・ドイル “写っているなら実在していたはずだ” 写真は記憶の入口

「記憶の参照・再編・共創」

中村 美亜（芸術社会学）

記憶を伝えるメディア

感性的コミュニケーション

何かを見て感じる、何かを聞いて思い描く経験を記憶

共創的芸術活動

「今、ここ」での体験は、過去との再会であると同時に、未来への投資

トークセッション いろいろ、いないの？記憶と心霊

出演： 浜野志保（視覚文化論）× 三村尚央（英文学）

日時： 11 月 26 日（日） 13:00~14:30+α（12:30 開場）

会場： 大學堂

（北九州市小倉北区魚町4丁目4-20 旦過市場内）

聞き手： 逆巻しとね（文芸共和国の会・世話人）

参加費： 500 円（定員 20 名・要予約）

トークセッション {サイボーグの記憶}

出演： 高橋さきの（科学技術論）× 三村尚央（英文学）

日時： 2017. 11. 26（日） 17:00 スタート（16:30 開場）

会場： カフェ&ギャラリー・キューブリック

（ブックスキューブリック箱崎店2F／福岡市東区箱崎 1-5-14）

聞き手： 逆巻しとね（文芸共和国の会・世話人）

参加費： 一般 1,500 円 学生 500 円

（ワンドリンク付き・要予約・学生は当日身分証を呈示）